

3月5日（木曜日） 伐倒作業を続ける

【参加者：池本、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木明、鈴木哲、中 計12名】



新型コロナウイルスの影響でビクターコートージとサブコートージ内の使用が禁止となったが、モリメイトの活動は屋外での作業であるのでいつも通り続けることになった。

自粛が叫ばれる中、モリメイト12名はこの自然の中

で元気に活動できることに幸せを感じていた。

公園事務所からの依頼で、「風のとりで」、5番東屋、1番東屋の散策路沿いの枯れコナラを伐倒し

た。いずれもキノコが生えて朽ち、今にも倒れそうな危険な状態であった。いつも通り、チェーンソーで幹を伐って玉切りし、枝を払い片付けていくという作業を手際よく行った。

その後、目立つ枯れマツ20本ほど伐倒した。



取り忘れていた！巨大椎茸



3月12日（木曜日）

花を咲かそう！ササユリ自生地と花菖蒲園の整備をする

【参加者：池本、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 計12名】

ササユリの芽が出る前に草を刈っておこうと、自生地の様子を見に行くことにした。ビクターコートージ東側の斜面の自生地は、池の端が笹で覆われており、「ドングリの森」の中の自生地は、除伐した材が置かれていた。ササユリの芽が出てきてくれることを願いながら、笹を刈り、材を取り除いてきれいに整備した。

その後、モリメイトフィールドの花菖蒲園の整備を行った。5センチぐらいの芽がたくさん噴き出していた。これからどんどん伸びていく小さな花菖蒲を傷つけないようにていねいに草を引き、溝の土をあげて水が流れやすいようにした。

4月19日の「森のオリエンテーリング」に向けて、いろいろ準備してきたが新型コロナウイルスの影響で中止することになった。



午後はモリメイトフィールドの枯れマツを伐倒した。

3月19日（木曜日） 竹の侵入を防ぐために整備を進める 枯れマツの伐倒とモリメイト会議

【参加者：池本、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 計10名】



春の温かい日差しの中、今日は、サブコテージ周辺、「カブトムシの森」周辺の枯れマツの伐倒作業を行った。松枯れは目立たなくなってきたがもう少し続ける必要がある。

午後からは、1番東屋周辺に広がってきている竹を切ることにした。

はびこっている笹を刈り払い機で切って中に入り、竹をのこぎりで切っていく。切った竹は広い場所に引っ張り出し、鉋で枝を払っていった。公園内の垣根や花菖蒲園の囲いの補修などに使う予定である。

モリメイト会議では、新型コロナウイルスの感染拡大による公園側の今後の対応を聞いた。3月初めと同様にコテージ内は使用禁止だが、こういう時だから密集空間が避けられる公園内の散策などを楽しんでもらえると思う。現に来園者が増えていることを実感している。



3月26日（木曜日） 春を感じています！

【参加者：池本、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、計11名】

公園内の小川や池では卵からかえったばかりのオタマジャクシがするすると這うように泳ぎ、陽だまりには小さなハルリンドウが水色の花を咲かせていた。春の日を探すように咲くシヨウジョウバカマも見つけることができた。

午前中は竹やぶの整備。

午後からは春を感じながらの枯れマツの伐倒作業となった。モリメイトフィールド周辺で10本、6番東屋周辺で5本。もうこれでないだろう



と思うや、次から次へと見つかる枯れマツ、枯れていくマツ。あと少し伐倒作業は続きそうである。

